

下館ロータリークラブ会報



SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2010~2011

RI会長 レイ・クリングスミス RI テーマ 地域を育み、大陸をつなぐ

/Building Communities—Bridging Continents

ヘレン・ケラー女史の 遺徳を学ぶ！！

例会日時/水曜日 12:30~13:30
 ※欠席の場合は午前 10 時までに連絡願います
 ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>

本日のプログラム

米山月間

溝口明洋委員長卓話

次週のプログラム

10月27日 会員卓話

濱野晴代会員

2010年10月20日 第2189号 (2010/10/13 例会報告)

会長挨拶 小林一彦 会長

先週のガバナー公式訪問には、会員の皆様には早々とガバナーの出迎えを始めとして長い時間に亘り、ご協力を戴き有り難う御座いました。山崎ガバナーからは、下館クラブさんとは永い付き合いで、親戚のようなもので何も言うことはありません。と言うお言葉を戴きました。また、午後からのクラブ協議会においても、各委員会の活動方針に対して指導・助言を頂きましたが、大変バランス感覚の取れた活動・運営をしているクラブだとお褒めの言葉を戴きました。これも下館クラブの50年の歴史と伝統が導いてくれたのではないかと感謝している次第です。さて、今月10月は職業奉仕と米山月間になっております。職業奉仕はロータリーの金看板と言われます。それは他の団体にはない奉仕分野であり、いつでも誰でも出来るもので、いわばロータリアンの生活の規範をなすものだからです。従来、職業奉仕は会員個人が行うものとされてきましたが、1987年のRI理事会は「職業奉仕はクラブと会員双方の責務である」と声明しました。ロータリアンは専門職務に携わる職業人の集まりであり、そして大部分は業界のリーダーでもあり、また高い見識と常識を有しています。さらに自らの人格と高い職業倫理の向上に努めることがロータリーにおける職業奉仕の基本です。その基盤となるものは自分の職業を通じて、人のため、世のためになり、社会に貢献することです。米山月間については、来週卓話も予定されているので、その時お話ししたいと思います。

理事会・幹事報告 鈴木光則 幹事

理事会報告

- 11月プログラムを承認しました。
- ガバナーエレクト事務所よりの依頼の件
コ・ホストとして協力します。
地区副幹事日向野陽会員・地区大会副実行委員
関谷徹会員・鈴木光則会員を任命しました。
- 次年度クラブ理事・及び役員選挙について
11月に選挙の公示をします。
指名委員：直近パト会長5名で構成する。

4. 下館 RC ・しもだて紫水 RC ・筑西きぬ RC との合同懇親会について、3クラブと協議します。
5. 世界社会奉仕 (WCS) 事業について
タイへの自転車寄贈プログラムに参加 2万円。
6. ガバナーエレクト事務所開所式について
参加します。

幹事報告

1. 国際交流友の会閉講式の変更案内受理
平成23年3月29日

ようこそ下館RCへ

- ・社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会 福山博 事務局長様
- ・下館ロータリーアクトクラブ 関口ゆかり様

11/7(日) 関城体育センターで埼玉県南東部の RAC・RC 会員の皆さんと
2 地区合同交流会を行います。午前中は笠間焼体験制作、午後はビー
チバレーで交流を深めます。下館 RC の皆様の参加をお願いします。
9:30 受付 10:00 点鐘、終了は 16:00 予定です



出席報告 司代隆之 委員長

例会日	会員数	出席	欠席	病欠	免除
10/13	46	33	13	0	6

お祝い事

本人誕生

小林一彦
鈴木光則
新井和雄
早川誠二



スマイル BOX 永井啓一 委員長

小林 一彦 ヘレン・ケラー協会所長福山博様におかれましては、お忙しい中また遠い所ありがとうございます。本日は宜しくお願い致します。下館 RAC の関口さんようこそ。御苦労様です。

鈴木 光則 福山さんまたお会いできてうれしいです。

日向野 陽 東京ヘレン・ケラー協会福山所長の卓話楽しみにしております。

奥沢 裕二 福山所長様、先のクラブ 50 周年記念式典に御出席ありがとうございました。本日の卓話を楽しみにしています。

加藤 昌美 東京ヘレン・ケラー協会福山所長さんようこそおい出下さいました。

新井 和雄 東京ヘレン・ケラー協会福山博所長の卓話を記念して。

早瀬 浩一 東京ヘレン・ケラー協会福山所長ようこそおい下さいました。

神山 芳子 福山様ようこそいらっしゃいました。私のバレエの恩師 NBA バレエ団芸術監督安達哲治先生の振付けで 10/31 (日)「ヘレン・ケラー」が上演されます。今日の話を楽しみにしておりました。

永井 啓一 福山様、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお祈りします。

本日の合計 38,000 円 / 累計 515,000 円

外部卓話 東京ヘレン・ケラー協会 海外盲人交流事業事務局長 福山博様

ネパールにおける東京ヘレン・ケラー協会の国際協力



東京ヘレン・ケラー協会の海外盲人交流事業事務局長の福山博と申します。このたびはお招きいただき大変ありがとうございます。下館 RC の皆様も様々な形でネパールでの支援事業をなさっていることを、50 周年記念総会でお聞きし大変うれしく存じました。本日、お配りした資料の中に、記念総会の模様が触れられておりますので、後ほどご覧いただければと思います。私の本業は、点字出版所の施設長で、完全な独立採算ですので、従業員 28 名の特殊出版のオヤジというのが本当の姿です。これからネパールにおける東京ヘレン・ケラー協会の国際協力について触れますが、その前に当協会について紹介させていただきます。当協会は、昭和 23 年に毎日新聞社がヘレン・ケラー女史を招聘して、日本全国で「障害者福祉の充実」を訴えた講演を行った際に集まった浄財で、昭和 25 年に設立された社会福祉施設です。1981 年の国際障害者年を契機に女史の「アジアの視覚障害者のために尽力してください」という言葉が、思い起こされ、1982 年に海外盲人交流事業事務局を立ち上げました。そして、数年間調査活動を行い、対象国をネパールに定め、1985 年にネパールに調査団を派遣しました。そこで、やはり国際障害者年を契機に発足してネパール盲人福祉協会 (NAWB) と出会って、以来、同協会をパートナーに 20 数年にわたって支援事業を行っております。ネパールの人口は約 3,000 万人で、視覚障害者数は 30 万人だろうと推定しております。視覚障害者の数は日本とほとんど同じですが、人口の違いを考えると、ネパールの比率がいかに高いかが、おわかりになると思います。衛生状態と栄養状態が悪いため、視覚障害者が多くなるのです。当協会が当初から行って現在も引き継いでいる事業は点字教科書の発行・無償配布事業です。1986 年に NAWB のスタッフを当協会に招き、東京で教科書作りの研修を行い、あわせて、点字製版・印刷設備をネパールに贈りました。この事業を含めて、これまでの支援事業をまとめますと、まず点字出版設備 2 式の寄贈と 2 階建ての点字出版所 1 棟の建設、点字教科書を中心とした点字出版事業です。ついで、1989 年から実施した「地域を基盤としたリハビリテーション (C B R) 事業」があります。

これはインド国境添いの人口 40 数万人のバラ郡で 12 年にわたり実施しました。眼科診療所付きの 2 階建ての CBR センターを建設して、ここを拠点に視覚障害者の自宅にフィールドワーカーが出向いて、歩行訓練、家畜の飼育などの職業訓練等を行ってきました。眼科診療も述べ数千人～数万人おこないましたが、これは、視力検査とか目薬を差すようなものを含めたプライマリーケアを中心に行いました。CBR 事業を行うにあたる過程で視覚障害児への就学が大きな問題となりました。そこで、その後 2 階建ての寄宿舎 1 棟、平屋の寄宿舎 2 棟を建設すると共に、生活費も含めた奨学金の提供を、年間数十人の規模で継続して実施しております。視覚障害者のリハビリテーション事業は述べ数千人、CBR に関しては地域開発というような側面も大きく、コストパフォーマンスに問題があったかなと少し反省もしております。特に視覚障害者はまったく教育を受けていないと、職に就くのが非常に難しい状況があります。山羊の飼育とか水汲みとかの農業の補助的な仕事をするしかないのが、職業的自立といっても自ら限界があるのでした。ただ、CBR 事業の中からたくさんの視覚障害児を捜し出せ、就学に結びついたわけですから、それ自体を否定することはできないと思っております。

ネパールの学齢期の視覚障害児は約 2 万人といわれていますが、そのうち実際に学校にいらっているのは約 1000 人です。つまりたった 5% しか教育を受けることができておりません。しかし、そのような困難な状況の中でも近年、大きな成果が出てきています。私たちが支援する前のネパールでは全盲の教員はたった 1 人しかいませんでした。20 数年後の今日、全盲の教員が約 400 人に増えています。高卒の資格を持つ視覚障害者がやっと 1000 人くらいですから、この比率は、国際的に見て非常に高いのではないかと思っております。

ハローワールド

本年度第 1 回 10 月 14 日(木) 太田小学校

新井和雄新世代奉仕委員長
早瀬浩一国際奉仕委員長

